

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもサポート教室「きらり」円座校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援スペースが広いこと	危険がないように毎日の清掃や消毒、必要に応じて配置の設定を変更している。 職員人数の変更やおもちゃや療育道具が増えた際には、配置換えを行いながらお子さんの過ごしやすい環境を整えている。	広いスペースの中でも怪我がないようにおもちゃの破損やお子さんの口に触れたものについては消毒を徹底していく。 運動スペースははないが、少しスペースが狭い。外の駐車場スペースでできなくはないが、車通りがあるため気を付ける必要がある。
2	必要な支援課題や家庭を含めた周辺環境の困りを調整してその子に合わせた支援を提供	家族支援や子どもサポート加算を取るようにして家庭での様子の聞き取りと事業所での様子の照らし合わせを行っている。	児発管や指導員の力量の差があり、ご納得のいっているご家庭とご不満があるご家庭とが出てきている状態。どのご家庭も安心して任せられる事業所を目指し、職員間の差を少なくしていく必要がある。
3	専門職員の充実	色々な資格(保育士・作業療法士・言語聴覚指・教員等)を持つ指導員が入れるように支援組みを行っている	個別支援計画や専門支援実施計画を新しく立てる時には、全職員に回覧し共通の目標の認識と個々の専門性を発揮できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	従業員の移り変わりが多い	職員の配置の変更や急遽休みが出た際に他校舎からのヘルプを借りることで支援員の安定が図れていない。 新入社員の入社希望が少ない。	業務量が人員の少なさで多くなってしまうことがあるため、就職率を伸ばす取り組みが必要。 新入社員が入りやすいような開かれた場所(実習の受け入れ・イベントでのボランティア募集等)にしていける必要がある。
2	交流の機会が少ない	事業所内での保護者との交流や地域との交流を求められていることが少ない。 情報として欲しいご家庭が多い。	年に1回開催されている「きらり」の3校舎合同イベントでの個々の方向けではなく、全体の方角へのイベントの案内を行う。 個々で必要な情報がある場合には個別に向けての案内を行う。
3	防災訓練や法定研修等を実施しているが、保護者様への周知がしきれていない	法定研修の参加や防災訓練の実施については行っているが、掲示した際のお知らせがされておらずどこに提示しているかが保護者の方へ伝わっていない。	靴箱横に分かりやすく「防災訓練」や正面の壁に色々な掲示物を貼っているため更新日がわかりやすいように工夫する。 また、LINE等での家庭にも伝わるように一斉送信で実施した内容についてを送るようになる。

公表日

2026年2月14日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」円座校

利用児童数

13人

回収数：

13

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0	少人数なので、色々なおもちゃに興味を向けて挑戦しやすくいいと思う。電気の色が気になりますが、あえてあんな色なのでしょうか？ また、道路に向けた看板の電気がついていなくて、暗い時はどこだったか曲がるところが分かりにくいです。	今後も支援員やおもちゃを使用して経験につなげていけるように努めています。 円座校の設立当初よりそのまま運営しており、ご意見をいただくまで電気の色に対しての要望がありませんでした。この度のご意見を持って社内の設備を担当するものに相談し改善いたします。 道路に設置している看板については、ライトの交換を予定しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2	0	1	内部活動的にはわからないけどサービスの不自由を感じたことはないです。	国が定める基準を満たした運営をしておりますが、支援提供時に不便等があればご連絡いただけると幸いです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	0	遊びやすいみたいでこの事業所よりも積極的に色々なおもちゃに触れているように思う。	お子さんの支援課題や発達段階に合わせて必要な支援員の準備を今後も行っていくと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0	ちょうどいい広さと構成の空間だと思う。他の子供達の事が気になる時もあります。	利用時間の支援提供範囲の構造に関して意識しておりますが、他のご利用者様同士の接触を双方の相乗効果を狙った配置として現在行っておりますが、お子様自身への支援への影響があることも考慮し、今後は空間の使い方・配置に関しても慎重にはかかっていくことに努めて参ります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	0	子供が大大好きだとわかる職員さんばかりで、子供の相手の仕方も促しが上手なのがわかるので安心できる。	ご利用者様に対して真摯に向き合うことを今後も努めて参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	12	0	0	1	説明や情報共有の仕方が的確でわかりやすく安心感がある。	個別支援計画を持って支援提供をさせていただいたため、ご家族様のご納得していただいたうえで提供させていただけるように努めて参ります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1	0	2	熱心に対応してくれていると思う。子供の日程が分かりやすい様にわざわざ、カレンダーまで作って頂き、本当にありがとうございます。	ひとつひとつの支援課題にどのように提供すればよいのか日々考えており、適切なものを提供できるように努めております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0	熱心に相手して成長の引き出ししてくれていると思う。	お子様の発達段階や支援課題を定期的に見直し、必要な支援を提供できるように今後も取り組んでまいります。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2	0	1	色々考えてくれていると思う。	就学までの大事な時期に支援をさせていただいているため、様々な経験や成長につなげられるように今後とも工夫してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	0	4	3		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1	0	1	複数事業所利用しているが、最もしっかり明瞭に説明してくれた。	ご家族様のご納得の上でさせていただいておりますので、不明点等あればご教授いただければと思います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1	0	1	全員子供好きが透けているので信頼できる。	指導員や児発管として、お子様の成長をご家族様と共に今後とも見守っていけたらと考えております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	2	2	相談希望しますと言われる話のことならわかる。相談ができるのは不安な時に良いし、真摯に話をしてくれるので更に良い。	現在、事業所の中で行わせていただいている対面での保護者様とのご相談は家族支援です。ペアレントトレーニング等の家族支援プログラムとは別の扱いになりますが、ご相談の際に必要なに応じて情報提供や研修会のご案内等はさせていただいております。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	1	毎回お迎え時に子供ができたことや成長度合いを嬉しそうに話してくれるので聞くのが楽しい。	お子様の成長はご家族の喜びであり、私たちのやりがいでもありますのでご家庭での様子を教えていただけたらと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	1	こどもが安心感を持って過ごせることや成長だけでなく家族の事を職員の皆さんが考えてくださっているのがとても伝わり、支えられています。子供には愛情マシマシ、親には親近感と真摯な対応と、契約や文書における適切で分かりやすい説明をしてもらえるので安心して頼れる。	お子様の支援だけでなくご家族様のことも大事であると考えておりますので、今後とも支援提供や話せる場を作ってまいります。お子様には、安心または楽しく過ごしていただけることを努めており、ご家族様とはお子様のことを一緒に考える職員でありたいと考えており、今後とも納得・ご安心していただけるように努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	3	5	保護者同士はないと思うけど求めてないし、きょうだいはいないのでわからないし関係ない。	現在、イベントという形で全体周知はしておりませんが、必要なご家庭にはご案内や設定をしております。引き続き、ご希望をいただいたときや必要に応じてご案内・提供させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	1	2	話したいと言ったらすぐに時間を取ってくれるし対応も誠実。	日々の生活の中で変化することは多々あると思いますので、迅速な対応ができるように今後とも努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1	0	0	話がわかりやすくこちらの話も誠実に聞いてくれる。何かあったら相談しやすいと思う。	ご家族様に納得していただける表現や伝え方を工夫に努め、相談しやすいと思っていいただける環境を今後とも提供していただけるように努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	3	0	4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	1	4	あった気もするけど忘れてしまった。ただヘルメットが玄関にあるので、しっかりしてそうだと思う。	現在、入室された先の下駄箱の棚や正面の壁に掲示をしております。来所した際にご確認よろしく願い致します。ヘルメットに関しては、災害時に適宜使用できるように準備しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2	0	6	あると言われたような気がする？	毎月、避難訓練の実施をしており、ブログにて公開しております。また、下駄箱の横の壁に防災訓練実施の報告書を提示しております。ご確認よろしく願い致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1	0	1	今までにないのでわからないけど、連絡ツールもあるし子供好きで、説明的的確さも信頼性も満足しているので大丈夫だと思う。	今後とも事故や怪我がないように努めてまいります。発生した際にはご説明や必要な対応をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0	初めの頃は、寝起き後、行きたくない気持ちが少し強い場面がありましたが、最近では安心しているのか落ち着いてる傾向があると思います。	お子様の発達状況によっては、ご利用時間の調整を考える必要もあると思いますので、ご不便やご不明点があれば教えていただけると幸いです。また、楽しく過ごしていただけるようにこちらとしても努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	2	0	0	きらりの先生には、子供も日頃の愚痴をこぼしたりするくらい、信頼関係が出来てる先生がいらっやいます。	日々のご利用に安心感や充実感を感じていただけるように今後ともお子様に向き合っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	0	0	人気の支援所なので規定日数をフルで予約取るのは少し難しいらしいけど、子供を預けるには最高の環境だと思う。あまり回数が行けていないので、子供にとって通所にて成長できているのかどうか分かりません。でも、楽しく参加できています。	1日の利用定員の規定により、十分にご案内ができておらずご迷惑をおかけしております。ご利用の際には、十分な支援提供ができるように努めてまいります。

2026年2月14日

事業所名		従業員数		回収数：	
こどもサポート教室「きらり」円座校		5		5	
チェック項目		はい	いいえ	工夫していると思う点	改善が必要だと思われる点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	放デイや就学準備をしている児発の空間と未就学児とのスペースを分けている。 支援スペースが広い。 玩具スペースを分けていて使いやすいとなっている。 児発支援スペースを広くしており、同時間に利用が被っても対応可能なスペースを設けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○	国が定めている定員数と配置基本人員数は満たしている。 出勤人数により最大同時間4支援まで可能で、時間によって空き職員がいるためこどもの状況に合わせた対応が可能である。	同時支援の際に事務スペースにスタッフがいらないことがある。 キャンセル待ちの方が多いためもう少し増やしたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	支援スペースと遊び支援スペース、事務スペース、相談支援スペースに分かれている。 個室や低い机、椅子等の設備があるため必要に応じた環境設定を行っている。 児発や放デイの利用スペースを大まかに分けている。 また、事務スペースにや倉庫など立ち入りの場所にはこどもに分かりやすいように×マークや足跡マークを用いている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	毎日の消毒・掃除を行い、適宜配置換えを行っている。 空気清浄機を設置し、換気も行っている。	備品が切れていることや支援途中での汚染などに気づかないことがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	個室空間を2か所作っており、閉じ込めや閉じこもりにならないようにドアのみ外している状態。 2つの個室があり、適宜利用可能である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○	MTGや振り返りを行い、支援内容の充実や情報共有を行っている。	PDCAサイクルを意識してあまり取り入れていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	毎年事業所評価を行い、保護者様の意見を回覧方式で確認する機会を設けている。 毎年事業所アンケートを実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	MTGを1週間の中で話題を決めて行っている。 職員間での話し合い・共有や相談などの場を設定している。 MTGを実施している。 ミーティングでその都度話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	内部監査で他のユニットの方の介入がある。	第三者評価は行っていない(重説に説明あり)。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	社内研修(法廷研修・専門職について・年数での研修・発達研究所研修)がある。 入社時の研修や社内研修に参加している。 社内でもテーマ研修や法廷研修など実施している。 内部研修は参加している。	外部は業務の余裕がなく参加できていない。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	年に1度行っている。 個別支援計画に基づいて支援内容を作成している。 支援プログラム表を使ってその都度考えている。	



適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○	支援でのアセスメント・保護者への聞き取りもしている。こどもの発達や変化に応じて、適宜変更したり検討したりしている。	ニーズがずれていることもある。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○	モニタリングを児発管と指導員で行っている。児発管と指導員が一緒に計画の話し合いを行っている。	意見のずれがある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	MTG等で検討したり、個別支援計画を回覧にて回して全員見る機会は設けている。計画作成時に職員で回覧を行い、共有している。全ての計画を回覧し職場間で共有している。	支援の都度見ることはできていない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	年に一回学年が変わるタイミングでアセスメントシートの記入を行っている。日々の変化や様子、保護者の方からの共有事項等を記録に記入している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	保護者様への聞き取りや担当者会議に出席して計画作成を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	MTG等で話し合いをしながらプログラムの提案をしたり、引継ぎをしたりしている。先輩職員のアドバイスを受けながら支援内容の組み立てをしている。MTGや情報共有しながら色々な意見を取り入れている。ミーティングで支援の振り返りをしてその都度意見を出し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	日々の支援の来所時やフィードバック時に指導員や保護者と話し合いをして必要な支援についての検討を行っている。固定化してしまわないように児発管や指導員に助言してもらっている。季節の制作において導入や題材を工夫している。モニタリングやミーティングを通して他の職員の意見も聞くようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	基本的には個別支援ではあるが、同時間に同じぐらいの年齢と組み合わせたり、共通の課題があるお子さんを集団支援になることもある。個別支援が中心であるが、同時間になった時に必要に応じて他児への意識や関わりが持てるようにしている。必要に応じて利用時間が被るお子さん動詞でのやりとりを取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	MTGを開くようにはしている。MTGや引継ぎなどで共有している。	毎回MTGや引継ぎを行っていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	個々の職員では行っている。MTGや引継ぎなどで共有している。ミーティングで意見を出し合っている。	職員全体共有はできていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	記録は書くようにしており、必要に応じて保護者様へもお渡ししている。毎支援欠かさず記録記入を行い、支援に連続性が持てるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6か月に1回行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児発管と指導員が参加している。児発管や担当指導員が参加している。	

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じて提案を行ったり、保護者の方から依頼されたりしている。 必要に応じて連携が取れる体制を整えている。 必要に応じて保育所との連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	お子さんが学校行事の予定表を持参してくれたり、必要に応じて連絡帳でのやりとりをさせていただいているお子さんもいる。	利用者によってできていない方もいる。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	必要に応じて提案させていただいたり、保護者様からの依頼で行っている。 必要に応じて連携を行っている。	就学前の小学校との共有はあまりない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	○		スーパーバイザーや助言等を受ける機会がない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	3校舎合同イベントで行っている。	円座校独自のイベントは行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	支援後に毎回フィードバックを実施している。 フィードバック時に家庭の様子なども踏まえて話を行うようにしている。 フィードバック時の時間を最低10分は取るようにしている。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	事業所内相談にて実施。	ペアレントトレーニングの資格を有している職員がいない
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に契約書や重要事項説明書で行っている。 契約時に毎回実施している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	本人のしたいものを持参してもらったり、行う活動を本人と一緒に決めたりして本人の気持ちの確認を行っている。 事業所内相談や支援後のフィードバック等で実施している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	モニタリングから本計画まで説明し、サインをいただくようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	家族支援1-3を取る機会が多い(希望に応じて)。 事業所内相談にて実施。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	必要に応じてこちらから提案することがある。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	いつでも話しやすい環境を作ったり、次月の予定を聞く際に希望を聞いている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	月に2回ブログ更新をしたり、インスタグラムを開設したりして、更新時に掲示板へお知らせしている。 今年からInstagramへの投稿をスタートした。 活動概要やお知らせを発信できるように努めている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	PCや書類を鍵付き書庫に保管している。	机の上の個人情報については片付ける必要がある。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	本人との話し合いや実際に見せたりしている。 言葉での意思疎通だけでなく、視覚的な支援にも取り組んでいる。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		あそび博のイベントで行っている。	事業所としてのイベントは行っていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは事業所掲示板に掲示している。訓練については、各お子様ヘランダムで毎月実施している。 法定研修などで周知されている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		社内での法定研修が行われている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		年に1回情報シートの更新を行っている。 アセスメントシート記入時に確認を行っている。 保護者の方から変更を伝えられた際には職員への周知を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		医師による直接的な指示書はない。 飲食の支援は行っていない。 食事提供を行っていないため実施はないが、支援具(粘土など)にアレルギー源が含まれていないか注意していく。 食品提供をしていない。 食べ物を提供しない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		社内での法定研修が実施されている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に契約書や重要事項説明書に記載している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットや事故報告書作成を行い校舎内回覧後、会社全体へ周知している。 ヒヤリハットがあった際には報告を行い、口頭と回覧での周知を行っている。 再発防止に向けて危険個所の確認や危険予測を共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法定研修・委員会を開催している。 法定研修などで実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		計画に記載している。身体拘束を行った場合にはお迎え時に説明や身体拘束報告書作成を行っている。	